

令和5年度 福岡県中学校 新 体 操 大 会 要 項

主 催 福岡県中学校体育連盟 福岡県教育委員会 北九州市・福岡市教育委員会
筑後地区各市町村教育委員会
主 管 筑後地区中学校体育連盟
後 援 (公財)福岡県スポーツ協会 筑後地区各市町村体育協会 西日本新聞社

1. 大会名 第68回福岡県中学校新体操大会
2. 期 日 令和5年7月27日(木)
審判会議 9:30 監督会議 9:40 開会式 10:50 競技開始 11:00
3. 会 場 久留米アリーナ
〒830-0003 久留米市東櫛原町170-1 ☎ 0942-39-7371
4. 参加制限 (1) 団体(福岡、北九州、筑後、筑豊、筑前:各3 京築:1) 計16
(2) 個人(福岡、北九州、筑後、筑豊、筑前:各4 京築:1) 計21
(3) 地区予選通過者から事故等により不参加が確定した時は、次順位の選手が出場できる。
(4) 地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)からは団体5・個人5とする。
5. 競技種目 (1) 男子: 団体(徒手)、個人(クラブ・スティック)
(2) 女子: 団体(ボール)、個人(フープ・リボン)
6. 競技方法 (1) 団体競技(男子:同一チーム6名・補欠2名以内)
(女子:同一チーム5名・補欠3名以内)
(2) 個人競技
2種目の合計点により総合順位を決定する。
(3) 種目別
各種目の得点により順位を決定する。
7. 採点規則 (1) <男子>(公財)日本体操協会制定新体操男子採点規則2022年度版(新体操ジュニア・中学校男子摘要規則)、及び2022年8月九州地区中学生男子新体操申し合わせ事項(改訂版)に準じて行う。
(2) <女子>(公財)日本体操協会制定新体操採点規則2022-2024年度版ジュニアルールを適用する。
8. 競技規則 (1) 中学校における引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員(部活動指導員を含む)とする。ただし、教育職員(部活動指導員を含む)以外のコーチは、学校長が認め、県中体連に登録し承認を受けた者とする。地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)における引率・監督・コーチは、県中体連に登録し承認を受けた責任ある代表者・指導者とする。
(2) チーム名を示すマークは、競技服に付けて入場する。尚、その大きさは、3cm×3cm以上とし前面ウエストラインより上につける。
※この規定に違反した場合、規定以外の服装として0.30点の減点とする。
(3) 試技順については、女子は、地区予選終了時に地区専門委員より連絡を受け、男子は、当日抽選で決定する。
9. 参加資格 県総体開催基準および「特別規定」による。
10. 参加料 参加選手一人につき1,500円とする。(大会当日のチーム受付時に徴収する。)
11. 表 彰 (1) 団体: 上位3チーム
(2) 個人: 個人総合種目別ともに上位3位までとする。

12. 日 程 (前日練習を含む)

(時刻)	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
7/26 (水)	会場設営および専門部準備									
7/27 (木)	8:30～ 役員・ 女子団体 のみ入館	9:00～開館 9:30～審判会議 9:40～監督会議 9:00～ 女子公式練習 (団体→個人)	10:50～開会式 11:10～女子団体 →女子個人(フープ)	公式練習 男子 → 女子	13:50～ 女子個人(リボン) 男子団体・個人 カッティング	16:00 閉会式	退館	※ 九州大会 出場校 監督会議		

13. 選手番号 大会出場申込書の選手番号表のとおりとする。ただし、ゼッケンとして競技服に付ける必要はない。

14. その他
- (1) 男女とも団体上位2チーム、個人総合の上位2名は、九州大会への参加義務を負う。
 - (2) 音楽係については、本部で行う。チーム名・名前・種目・演技順をつけて受付後すぐに音楽係へ提出する。(変更する可能性あり、出場校に連絡する。)
 - (3) コーチは活動エリア内では指導できるが、出場申込用紙に記載されたコーチのみとする。
 - (4) 九州大会出場についての確認
 - ※ 団体競技同点の場合は、規則5-2-3-2を適用し、次の基準に基づき、チームを選出する。
 - ① 最も高いEスコアを有する団体チーム
 - ② 最も低い技術減点(ET)であった団体チーム
 - ③ 最も高いDスコアを有する団体チーム
 - ※ 個人競技同点の場合は、規則5-2-1-2を適用し、次の基準に基づき、選手を選出する。
 - ① 合計したEスコア(2種目)が高い選手
 - ② 2種目において、技術減点(ET)が低い選手
 - ③ 合計したDスコア(2種目)が高い選手
 - (5) チーム関係および保護者で撮影を希望するものは、監督を通じて許可証を受け取り、必ず許可証は見えるところに着用し撮影をする。撮影後は、監督に返却する。撮影エリアは会場内で案内する。